

まつやま こども・子育てサイト にっこ

こどもに関する情報や相談先などを『にっこ』で情報発信しています。様々な方法で一人ひとりの目的にあった情報収集が可能です。

さがす

「目的」、「年齢」、「施設」からカテゴリー検索が可能。知りたい情報を選択することで簡単に検索できるようになっています(キーワード検索も可)。



目的の検索画面。目的、年齢、施設から検索できる。



にっこキーワードから検索画面。キーワードを入力して検索できる。

「目的」は10種類、「年齢」は6種類、「施設」は8種類のカテゴリーに分類され、知りたい情報の検索が可能。

にっこマップ

こどもの居場所や子育て支援の場など11種類のカテゴリーに分類されており、目的のピンを選択すると詳細情報を確認することができます。

ピンの種類

- ☒ 遊びの場
- ☒ こども食堂
- ☒ 認定こども園
- ☒ 外 認可外保育施設
- ☒ 支 児童通所支援
- ☒ 他 その他

- ☒ 学習の場
- ☒ 幼稚園
- ☒ 保育園
- ☒ 児童クラブ
- ☒ 交流・相談

イベント情報

開催日、対象年齢、施設を選択し、松山市とその周辺地域で行われるこども・子育て等に関するイベント、講演などを検索することができます。



にっこイベント一覧画面。開催日、対象、施設から検索できる。

開催日、対象年齢、施設から絞り込み検索が可能。イベントの対象者、参加費、場所などを確認することができます。

公式Instagram(@nikotto_matsuyama)では、松山市や周辺地域の最新イベント情報などを発信しています。

『にっこ』に関する問い合わせ先
こどもえがお課 089-948-6039
【URL:<https://kosodate-matsuyama.jp/>】

心理判定員からのアドバイス

日本財団が15歳から79歳を対象に行った調査では、回答者の約1割が自傷行為を行ったと回答しています。今回、当センターの心理判定員から自傷行為を行うお子さんの対応について、アドバイスをします。

引用元:日本財団こどもの生きていく力 サポートプロジェクト『日本財団第4回自殺意識調査』報告書
https://www.nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2021/08/new_pr_20210831_05.pdf

【1. 自傷行為について理解を深める】

自傷行為について知ったとき、ショックを受けるかもしれませんが、怒りや否定的な態度で接すると、さらに事態が悪化する可能性があります。こどもの気持ちや状態を理解しようとする姿勢が重要です。

自傷行為はいけない行動だと単純に考えるのではなく、こどもにとって何を意味しているのかを知ることが大切です。例えば、自傷行為が「心の痛みを表現する方法」や「ストレスの発散」になっている場合があります。まず話を聞き、不安や怒りに対する共感を示し、「話してくれてありがとう」と伝え、自傷行為に至るまでの背景を少しずつ聞いていくと良いでしょう。

【2. 専門家へ相談する】

自傷行為は心の状態が深刻化しているシグナルと言えます。心理カウンセラーや精神科医に相談することで、適切な支援や治療法を見つけることができます。

【3. 保護者自身がサポートを受ける】

こどもの自傷行為に向き合うのは保護者にとっても大きな負担となります。保護者自身が心のケアをすることが大切です。問題を一人で抱え込まず、焦らずに接していきましょう。